

茶園の基盤整備

～ もっと楽に もっと稼げる 茶園にリニューアル！
「基盤整備」で未来の地域と茶園に活力を！ ～

静岡県経済産業部農地局農地計画課

本日のトピック

1. なぜ今、基盤整備なのか？
2. 静岡県が進める茶園の基盤整備
3. 大規模な基盤整備
4. 小規模な基盤整備
5. まとめ

1. なぜ今、基盤整備なのか？

茶業を取り巻く3つの現実



- ・「農業者の減少」と「高齢化」 …… 傾斜地や狭小茶園は作業負担が大
- ・「コスト増」と「茶価の乱高下」 …… 生産費用の高騰と不安定なリーフ茶価格
- ・「海外需要の変化」などへの対応 …… 抹茶や有機茶などの海外需要が急増

1. なぜ今、基盤整備なのか？

もっと楽に、もっと稼げる、茶園にリニューアル



- 「農業者の減少」と「高齢化」には、、、
 - ⇒ 乗用型機械の導入を実現、労力と作業時間を軽減【効率化】
- 「コスト増」と「茶価の乱高下」には、、、
 - ⇒ 区画の拡大、平坦化、集積・集約化で生産コストを低減【低コスト化】
- 「海外需要の変化」などへの対応には、、、
 - ⇒ 効率化と低コスト化で多様な経営を実現、収益力を向上【多角化】

1. なぜ今、基盤整備なのか？

「基盤整備」で10年後、20年後の次世代へ地域と茶園をつなぐ

- ・ 基盤整備で茶園の価値が維持・向上 → 後継者や借り手が見つかりやすい



★未来まで、地域の美しい茶園景観や持続可能な農地が維持



2. 静岡県が進める茶園の基盤整備



茶産地の構造を転換する基盤整備（R4～）

（令和7年度時点）

- ・ 乗用型管理機などの導入が可能な茶園に改変、生産性や収益性の向上を支援
- ・ 拠点化計画に基づく輸出茶園の拡大を支援
- ・ 有機茶やドリンク原料茶など、多様化する需要に応じた生産への転換を支援

基盤整備を進める茶園	164ha
①大規模な整備 （県営事業）	130ha
②小規模な整備 （農業者自ら施工）	34ha

3. 大規模な基盤整備



県営事業として大規模な基盤整備を行います

- ・ 狭小で不整形、非効率ゆえに借り手が見つからない、まとまった範囲の茶園
⇒ 地形を改変、新しい茶園に再整備（茶園のフルリノベーション）
- ・ 地域一帯、同じ水準で整備
- ・ 換地により、全ての園地が農道に接した大区画化を実現
- ・ 農地所有者や地域との合意形成は、皆さんが納得できるまでじっくりと
- ・ 事業費や地元の負担は大 ※地元負担を軽減する事業や制度もあります

3. 大規模な基盤整備

県営事業の主な事例

< 朝生原地区（区画整理22ha） >



(整備前)



(整備後)

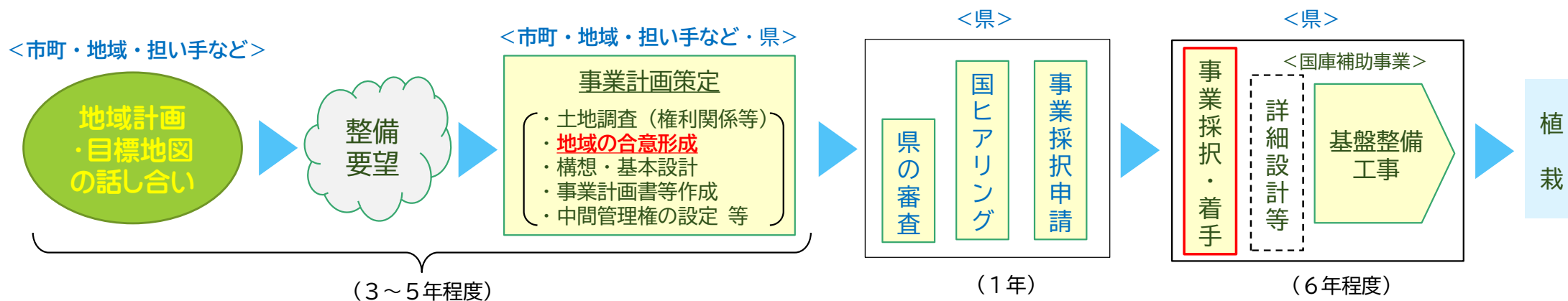
地区	整備面積	事業費	工期
静波（牧之原市）	区画整理 6ha	約2億5,000万円	R1-R4
瀬戸谷（藤枝市）	区画整理 10ha	約3億6,000万円	R1-R6
東豊田池田（静岡市）	区画整理 12ha	約8億9,000万円	R2-R10（実施中）
朝生原（牧之原市）	区画整理 22ha	約8億3,000万円	R2-R7（実施中）
江尾（富士市）	区画整理 17ha	約11億8,000万円	R2-R9（実施中）
南原（島田市）	区画整理 12ha	約6億円	R6-R11（実施中）

※事業費の負担割合は、国50%（55%）【62.5%】、県30%、地元20%（15%）【7.5%】（ ）は中山間地、【 】は機構関連農地整備事業の場合

3. 大規模な基盤整備



県営事業の大まかな流れ



★基盤整備は、地域の皆さんで推進組織を作り、皆さんが主役となって話し合いを重ね、地域が一つにまとまります

★時間をかけてじっくりと、関係する多くの皆さんの着実な合意形成が重要

★推進力となる地域のリーダーの存在、地域の団結力 ⇒ 事業をスピーディーに、スムーズに進めるポイント

4. 小規模な基盤整備



農業者が自らが基盤整備を行います

- ・ 農業者個人が耕作する比較的狭い範囲 ⇒ 耕作条件を改善（茶園のリフォーム）
- ・ 茶改植支援事業と併せて、段差の解消と区画の拡大、暗渠排水など
- ・ 農業者が自ら実施、要望に沿ったきめ細かな整備ができる
- ・ 要望、申請から工事完了まで2年ほど（短期間）
- ・ 国庫補助金が定額で助成、農業者の負担も軽減

4. 小規模な基盤整備

茶改植支援事業との組み合わせ



4. 小規模な基盤整備

農業者が自ら行う整備の主な事例

< 区画拡大 100a >



(整備前)



(整備後)

事業者	整備面積	助成額	施工
法人	区画拡大 42a	約25万円	R5
法人	園内配管 98a	約240万円	R5
認定農業者	区画拡大 106a	約64万円	R6
認定農業者	暗渠排水 106a	約150万円	R6
法人	区画拡大 99a	約50万円	R6

※農業者が自ら行う整備に対して10aあたり定額で助成されます。

5. まとめ ～2つの比較～

	大規模な基盤整備	小規模な基盤整備
規模	広範囲（地域まとまって5ha～20ha超規模） 数億円～十数億円規模	狭い範囲（生産者個人の畑ごと1ha前後） 数十万円～数百万円
実施者	県	農業者自ら（認定農業者・法人）
関係者	多数（地域の農地所有者や耕作者など）	少数（農業者と農地所有者）
期間	10年ほど（地域計画～要望～計画～工事）	2年ほど（要望～工事）
費用負担	一部は地元で負担（7.5～20%程度）	定額助成を超える費用は農業者が負担
魅力	<ul style="list-style-type: none"> ・地域全体が同じ整備水準の茶園に生まれ変わる ・換地で所有農地や耕作地が集約化、全て接道 <ul style="list-style-type: none"> ・作物や品種ごとにゾーニング ・農道や用排水路、暗渠排水もまとめて整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・狭い範囲でもできる ・期間が短い ・農業者の要望に沿った細かな整備 ・費用負担は少額
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の合意形成や工事に長い時間 ・未収益の期間も長い ・費用負担が大 	<ul style="list-style-type: none"> ・整備した農地と未整備の農地が混在 ・道路や用排水路はそのまま ・地形や傾斜は大きく変えられない
目指す姿	地域の未来のためにじっくりと【中長期】	需要に合わせてスピード重視【短期】

5. まとめ ～持続可能な茶業のために～

「地域の将来像」や「目的」に合わせた選択を

- 基盤整備は、地域の皆さんが主役です
- 基盤整備がゴールではありません
- 5年後、10年後にどんなお茶づくりをしたいのか？
- 地域の皆さんや仲間と、じっくりと地域計画を話し合い、
それぞれの地域に合った基盤整備に取り組みましょう
- 農地局・農林事務所は、地域計画を実現する整備をサポートします

地域計画



ご清聴ありがとうございました

< 基盤整備に関するのお問い合わせ先 >

- 賀茂農林事務所(農村計画課)／電話:0558-24-2080
- 東部農林事務所(農村計画課)／電話:055-920-2165
- 富士農林事務所(農村計画課)／電話:0545-65-2201
- 中部農林事務所(農村計画課)／電話:054-286-9268
- 志太榛原農林事務所(農村計画課)／電話:054-644-9123
- 中遠農林事務所(農村計画課)／電話:0538-37-2291
- 西部農林事務所(農村計画課)／電話:053-458-7224
- 経済産業部農地局農地計画課／電話:054-221-2647